



林業ミニ情報 No.143

平成29年9月

- 1 北茨城市立石岡小学校で森林・林業体験学習を実施……………1
(常陸太田林業指導所 松本)
- 2 ひたちなか市の小学生が笠間西茨城森林組合で職場体験……………2
(笠間林業指導所 菊池)
- 3 平成30年度開校予定の義務教育学校の内装木質化について……………4
(土浦林業指導所 柳澤)

H29.普及三二情報(平成 29 年 9 月)

(常陸太田林業指導所 松本 駿)

<p>タイトル</p>	<p>北茨城市立石岡小学校で森林・林業体験学習を実施</p>
<p>年月日</p>	<p>平成 29 年 9 月 27 日 (水)</p>
<p>場所</p>	<p>北茨城市華川町花園地内</p>
<p>内容</p>	<p>森林・林業・木材利用等の意義や重要性について理解と関心を深めることは、山崩れの防止、防風、貯水効果といった様々な機能を持つ森林を社会全体で支えるという機運を醸成することにつながります。</p> <p>そのためには、次代を担う青少年等に対して、森林が持つ機能や役割について説明するとともに、木工工作や間伐等の体験活動を通して、森林環境教育の機会をより多く提供することが必要です。</p> <p>今回、北茨城市立石岡小学校での森林・林業体験学習事業を実施内容を紹介します。</p> <p>対象は 5 年生 2 名と 6 年生 6 名、引率者 6 名の計 14 名で、指導所職員による「森林の講話」では、森林の働きや苗木の生産から主伐までの一連の流れや、スギの葉の特徴、樹齢等を説明するとともに、実際にスギやヒノキの葉を触って、形の違い等を確認してもらするなど、参加者が体験を通して森林について理解の促進に資することができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="411 1236 901 1601">  </div> <div data-bbox="933 1236 1423 1601">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="539 1617 769 1653" style="text-align: center;"> <p>森林の講話の様子</p> </div> <div data-bbox="1104 1617 1248 1653" style="text-align: center;"> <p>散策の様子</p> </div> </div>
<p>普及成果</p>	<p>子ども達が森林や木製品に対して興味を持つとともに、森林保護や森林整備の大切さ等について理解が得られました。</p> <p>今後も多くの子ども達に森林の大切さや木の良さ等を伝える活動を継続していきたいと思えます。</p>

<p>タイトル</p>	<p>ひたちなか市の小学生が笠間西茨城森林組合で職場体験</p>
<p>年月日</p>	<p>平成 29 年 9 月 24 日 (日)</p>
<p>場所</p>	<p>笠間市寺崎「笠間西茨城森林組合」及び飯田地内山林</p>
<p>内容</p>	<p>ひたちなか市では、児童が働くことの意義や地域の産業を学び、社会性豊かな心を養うなど「生きる力」を育むことを目的として7年前から職場体験を実施しており、今年度も市内の小学校5・6年生30人及び引率者10人を対象に笠間西茨城森林組合での仕事見学及び、笠間市飯田地内の山林で間伐作業体験やプランターの作成を行いました。</p> <p>当日は、間伐体験の現地に集合し、最初に森林組合の岡井専務から森林組合の役割や仕事の内容について、次に林業普及指導員から林業指導所の役割や森林の働きと間伐の必要性などについて説明を行いました。</p> <p>間伐体験では森林組合の鈴木課長補佐が間伐木の選び方と伐採方法について説明した後、ノコギリとチェーンソーを使用した間伐木伐倒のデモンストレーションを行いました。その後、参加者は5班に分かれノコギリを使用した伐倒・玉切り・枝払い作業を始めましたが、初めてノコギリを使う児童も多く、最初はなかなか伐れずに難しかったようですが、徐々に慣れてきました。</p> <p>午後は、森林組合の事務所で間伐材を使用したプランターづくりの体験です。はじめに森林組合の岡野課長から作り方の説明があり、その後1人1組ずつキットが配られ組み立てを開始しました。組み立ては、材料を釘でとめる簡単な物ですが、参加者は真剣な眼差しで黙々と作業し、全員プランターを完成させることができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="424 1487 908 1850" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="965 1487 1460 1850" data-label="Image"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="576 1865 778 1899" data-label="Caption"> <p>間伐作業の様子</p> </div> <div data-bbox="1038 1865 1353 1899" data-label="Caption"> <p>プランターづくりの様子</p> </div> </div>

普及成果	<p>参加した児童からは「山の中は涼しくて気持ち良かった」、「山の手入れの大切さがわかった」「木を伐るのがとても楽しかった」との感想が聞かれました。</p> <p>当林業指導所では、このような体験を通じて、森林・林業に対する関心が高まるよう工夫しながら指導していきたいと思えます。</p>
-------------	--

H29.普及ミニ情報(平成 29 年9月)

(土浦林業指導所 柳澤 詩織)

タイトル	平成 30 年度開校予定の義務教育学校の内装木質化について
年月日	平成 29 年 8 月 31 日 (木)
場所	土浦市立新治学園義務教育学校
内容	<p>土浦市では、新治地区にある 3 つの小学校を統合して市立新治中学校敷地内に開校する土浦市初の施設一体型小中一貫校を、平成 30 年 4 月から土浦市立新治学園義務教育学校として開校する予定です。</p> <p>新校舎の増築にあたり、児童生徒等に木の良さを認識していただく目的で、「いばらき木づかい環境整備事業」を活用して内装の木質化を行い、平成 29 年 8 月に工事が完了したので紹介します。</p> <p>同校は、1 年生から 9 年生までの約 550 人が通学する予定です。児童生徒が 1 日の大半を過ごす普通教室やオープンスペースなど約 1,939 m²の床を木質化するとともに、文部科学省の事業を活用し、外部のルーバー（羽板と呼ばれる細長い板を、枠組みに隙間をあけて平行に組んだもの）を木製にしました。</p> <p>こだわった点として、床材は、茨城県産の杉圧密フローリングを使用し、耐久性を向上させました。また、外部の木製ルーバーは、茨城県産の杉集成材に、水蒸気式高温熱処理という特殊な処理を施し、耐候性を向上させました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>校舎の外装</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>校舎内部の床の木質化</p> </div> </div>
普及成果	<p>学校からは床が木質化されたことで、「教室や廊下の雰囲気明るくなった」、「温かみがあってほっとする」との感想が寄せられました。木材がふんだんに使用された校舎で 9 年間過ごすことで、児童生徒が木のぬくもりや質感を肌で感じ、その良さを体感することができます。今後、来年 3 月にかけて既存校舎の改修工事を行い、床は新校舎と同じように木質化する予定です。当林業指導所では引き続き、公共施設等の木造化・木質化による木材利用を推進していきたいと考えています。</p>